

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	宗像市立玄海東小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	13	
児童数	58	80	62	66	66	61	3	396	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人が確かな学力を身につける国語科・社会科学習
 ~ 評価規準を基にした補充学習・発展学習の在り方 ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1年生 国語(すべての教科の基礎基本となる教科なので、作文領域を中心に)
 2年生 国語(すべての教科の基礎基本となる教科なので、作文領域を中心に)
 3年生 社会(思考力・判断力を育成するために教材の開発などをする)
 4年生 国語(すべての教科の基礎基本となる教科なので、作文領域を中心に)
 5年生 国語(すべての教科の基礎基本となる教科なので、作文領域を中心に)
 6年生 社会(思考力・判断力を育成するために教材の開発などをする)

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 一人一人に確かな学力を身につける授業の創造 ~ 学習指導法と指導体制の工夫・改善 ~</p> <p>研究の見通し(仮説) 今までの学習指導法を見直したり新しい学習指導法を導入したりして学習指導法の工夫・改善を図るとともに、基礎学力定着のための指導体制の工夫・改善を図れば、一人一人に確かな学力を身につけることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 1. 日常の学習指導の充実 単元構成・学習過程の工夫 教材開発・教具の工夫 ワークシート 2. 新しい学習指導法の工夫 少人数学習(習熟度別学習、課題別学習) 3. 基礎基本の内容を身につける指導体制の工夫 補充学習や発展学習の工夫 ・「チャレンジコーナー」や「やればできるっタイム」 ・学習支援教室の設置</p>
--------	--

平成 15 年 度	<p>テーマ 一人一人が確かな学力を身につける国語科・社会科学習 ～ 評価規準を基にした補充学習・発展学習の在り方～</p> <p>国語科 「一人一人が国語科の確かな学力を身につける学習」 ～ 「書く力」を育成する補充学習・発展学習～</p> <p>社会科 「一人一人が社会科の確かな学力を身につける社会学習」 ～ 思考力・判断力を育成する補充学習・発展学習～</p> <p>研究の見通し（仮説） 国語科・社会科のそれぞれの目標にあった評価基準を基に、ステップアップカード（評価補助簿）を活用した補充学習や発展学習を行えば、一人一人に確かな学力を身につけることができることを究明する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>（１）国語科・社会科の評価規準の作成と学習過程への位置づけ</p> <p>（２）補充学習・発展学習 日常の学習活動における補充学習・発展学習 習熟度別学習における補充学習・発展学習 国語科・社会科における補充学習・発展学習</p> <p>（３）評価補助簿（ステップアップカード）の作成と活用</p> <p>（４）基礎学力定着のための指導体制の工夫 補充的学習（チャレンジコース）の推進・あっぱれタイム・やればできタイム 漢字コンクール 学習支援教室の推進</p>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 一人一人が確かな学力を身につける国語科・社会科学習</p> <p>研究の見通し 一・二年次の見直しと改善</p> <p>研究の内容・方法</p>
--------------------	---

(3) 研究推進体制

<p>校外の研究推進体制 福岡県 - 福岡教育事務所 - 福岡地区学力向上推進協議会 - 玄海東小学校</p> <p>校内の研究推進体制 校長・教頭 - 企画部 - 研究部（国語科研究部・社会科研究部） - 全職員</p>

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>評価規準を位置づけた指導過程及び指導案の開発・作成を通して、児童のめざす姿像が明らかになり、教材分析・指導方法の工夫改善が図られた。</p> <p>単元や一単位時間に補充学習・発展学習を位置づけたことで、学習状況をきめ細かに把握し、個に応じた工夫・指導をすることができ、児童の学力向上が見られた。</p> <p>ステップアップカード（評価補助簿）を開発・研究し、児童の学習状況と変容を見取ることができた。</p>

2. 今後の課題

評価規準の重点化・系統化を図り、年間カリキュラムにバランスよく配置すること。
ステップアップカード（評価補助簿）の内容と活用の工夫改善を図ること。

学力等把握のための学校としての取組

- 1, 4 教科（国、算、理、社）の学力テストを実施して、それぞれの全国平均や内容の実態をつかみ、学力向上をめざしている。（国語、算数については、今まで実施してきた。）
- 2, ワークシートを学習段階で工夫したり自己評価を取り入れたり、評価規準表を取り入れたりして、理解度をチェックし、「確かな学力」が身についているかを判断している。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 1, 実践交流会を実施して他校と交流を持ち、研究した成果の普及に努めている。
 - (1) 授業公開
 - ・日 時 平成15年7月1日（火） 7月7日（月）
 - ・教科 社会 3年・5年 国語 1年・4年
 - ・成果 評価規準表を作成し、子どもたちの実態把握をきめ細かくおこない、指導実践に生かした授業公開をおこなった。
 - ・協議会 具体的な取り組みについて授業を通して発表し、今までの取り組みと今後の研究の方向について協議をおこなった。
 - (2) 実践交流会
 - ・日 時 平成16年1月30日（金）
 - ・授業公開 全学級、国語科・社会科の指導案を作成し、本年度取り組んだ内容の実践を公開し成果の普及に努めた。
 - ・分科会 国語科部会・社会科部会に分かれ、それぞれに研究テーマを中心に研究協議をおこなった。
- 2, 地域・保護者には、学校だよりや実践交流会への参加などを通して「確かな学力」への取り組みについて研究内容の理解と協力をお願いした。
- 3, 教科書関係の研究会紹介やHPなどに載せていただき実践交流会当日県外の方々に参観して頂いた。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無